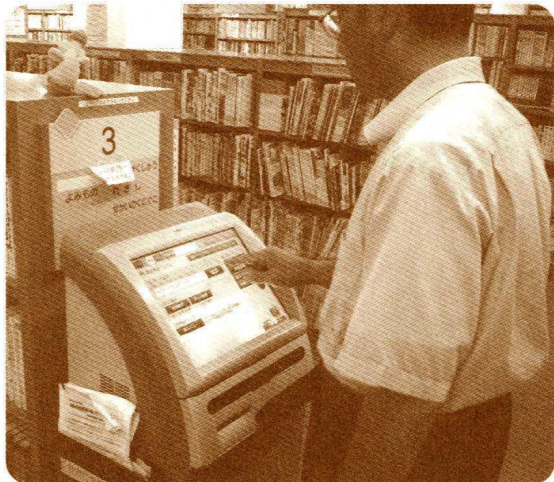




さいたま 来ぶらり通信

さいたま市立図書館報 2011年11月15日発行



利用者用検索機。
OPAC (オパック: Online Public Access Catalog) と略します。



図書館で本を 上手に探すには

利用者用
検索機を
使ってみよう



図書館の利用者用検索機はご利用で
しょうか。「使ってみただけで本がどこに
あるかわからなかった」「操作が難しそう」
という方のために、今回は図書館で上手に
本を見つける方法をご紹介します。

まず、図書館に設置されている検索機に
触れてみてください。キーボードタイプの
ほか、画面をタッチすると文字を入力でき
るタッチパネルタイプもあります。キー
ボードは苦手という方でも操作は簡単です。

● 本を上手に探すコツ① 入力はカタカナで!

はじめの画面の「キーワード検索」の欄
に、探している事項を入力するのが一番シ
ンプルな検索の方法です。入力して「検索」

ボタンを押すと、その言葉が含まれている
資料が一覧表示されます。

入力するとき、「書名はわかっているけど、
こは漢字だったっけ、ひらがなだったっ
け?」と迷うことはありませんか。たとえ
ば「いのち」という語は、一般的には「命」で
すが、「いのち」とひらがなだったり、なか
には「生命」という漢字をあてている書名
もあります。漢字・仮名まじりで検索する
と、書名と完全に一致しなければ、ヒット
しません。そこでおすすめしたいのが、カ
タカナ入力での検索です。図書館の本は、
書名などの読みをカタカナで採録してい
るので、「イノチ」と検索すると「いのち」
「命」「生命」のすべてがヒットするのです。
*カタカナ入力の場合、図書館独自の入力
のルールがあります。例・日本・現代・
美術 ↓ ニホンゲンダイビジユツ (特に
指定のない限り、「日本」はニホンと採録さ
れています)

● 本を上手に探すコツ② 「配架場所」と「請求記号」に注目!

ヒットしたすべての資料が「検索結果書
誌一覧」に表示されます。そこで探してい
る本を選択すると、その本の詳細なデータ
と状態が表示されます。「所蔵館」が今いる
図書館で、「状態」が「在庫」の場合は、その
本が今あるということなのです。では、その本



配架場所を確認

626.48	←	分類
エン	←	著者名等
11	←	出版年

検索機では、この上2段が
「請求記号」欄に表示されます。

0-9の順番に並んでいます。
「配架場所」で位置を確認し、「請求記号」
を追って本にたどりつく、というのが、資
料を探す近道です。

● 本を上手に探すコツ③ わからなければ職員にきく!

「検索機でヒットしない」「ヒットしたけ
れど所定の場所がない」など、お求めの資
料にたどりつけず困ったときは、ぜひ職員
に声をかけてください。出版されたばかり
で所蔵が無かったり、行き違いで借りられ
ていたり、様々な場合が考えられます。
ご利用にあわせて、職員が本にたどりつく
お手伝いをします。

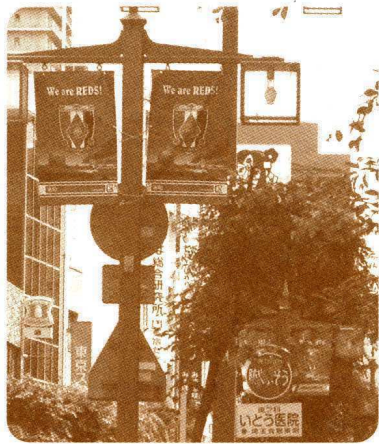
図書館では、みなさんが資料を利用しや
すいように様々な工夫をしています。3つ
のコツを使って、上手に本を探してみてく
ださい。

はここにるのでしょ
う。ここで注目するの
が「配架場所」と「請求記
号」です。

まず「配架場所」を見
て、図書館の案内図から
おおまかな場所を特定
します。次に見るのが
「請求記号」です。「請求
記号」とは、本の背に貼
られたラベルの記号の
ことで、「日本十進分類
法」を基に付けられてい
ます。図書館の本は、基本的
にその数字の



東浦和図書館サッカーコーナー



浦和のまちを染める赤い旗



浦和駅西口の浦和レッズ・フットレリーフ

わがまち はっけん Sai 発

サッカーのまち さいたま



さいたま市は現在、浦和レッズと大宮アルディージャ、浦和レッズレディースのホームタウンであり、全国で唯一、J1の2チームとなでしこリーグチームが本拠地を置いています。昭和30～50年代には「埼玉を制する者は全国を制する」といわれたサッカー王国・埼玉の中心地となり、広島や静岡と並んで少年団や高校などのサッカー強豪が割拠しました。平成20年には、埼玉サッカー100周年を記念して、様々な催しが開かれました。

埼玉サッカー発祥の地
明治41(1908)年に、東京高等師範学校のサッカー選手だった細木志朗氏が埼玉師範学校(現在の埼玉大学教育学部)に着任し、全国にさきがけて蹴球部を創設しました。当時はサッカー用具が無く、細木氏自身が工具を持ち出して、ゴールポストを作ったそうです。その蹴球部員が卒業後教師となり、県内各地の学校においてサッカーを指導することで、埼玉サッカーは盛んになりました。

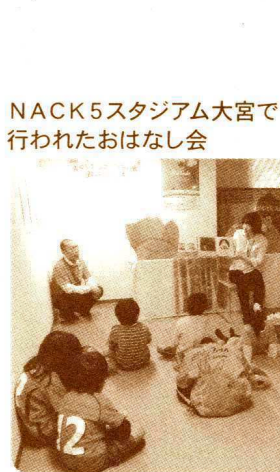


市役所にある「埼玉サッカー発祥の地」記念碑

さいたま市には、3つのスタジアムと多くのサッカーグラウンドがあり、少年団から社会人チームまで多くのサッカーチームが活動しています。なかでも、NACK5スタジアム大宮(大宮公園サッカー場)は、現存する日本で最古のサッカー専用スタジアムです。昭和38(1963)年に起工され、東京オリンピック直前の昭和39(1964)年9月に完成し、オリンピックのサッカーの試合にも使用されました。数回の改修工事を経て、現在は大宮アルディージャのホームスタジアムになっています。

サッカー stadiums and grounds
さいたま市内には、3つのスタジアムと多くのサッカーグラウンドがあり、少年団から社会人チームまで多くのサッカーチームが活動しています。

埼玉師範学校の跡地は現在のさいたま市役所となっており、庁舎の南側には「埼玉サッカー発祥の地」の記念碑が建っています。



NACK5スタジアム大宮で行われたおはなし会



「盛り上げよう!2002年ワールドカップさいたま市民委員会 活動報告」盛り上げよう!2002年ワールドカップさいたま市民委員会編 2002

「輝く埼玉サッカー七五年のあゆみ」埼玉県サッカー協会編 1983
「埼玉サッカー100周年記念展示図録」さいたま市立浦和博物館ほか編 2008
「日本サッカーのあゆみ」日本蹴球協会編 講談社 1974

図書館のサッカーコーナー
東浦和図書館には、同じ緑区内に埼玉スタジアム2002があり、また浦和駒場スタジアムが徒歩圏内に位置することから、平成9年の開館以来、サッカーコーナーを常設しています。コーナーには、浦和レッズのマッチデープログラムやイヤーズブックをはじめとして、Jリーグ関連本入門書、技術書、ワールドカップや世界のサッカー事情まで幅広い資料を収集しています。エントランスホールには、浦和レッズを応援する展示とともに、さいたまサッカーの歴史の展示もあります。

図書館との連携事業
大宮アルディージャと大宮図書館浦和レッズ・浦和レッズレディースと東浦和図書館のそれぞれの連携事業が、今年度から本格的に始まっています。

このようにさいたま市は、歴史的にもサッカーとの繋がりがたいへん深く、全国でも屈指の「サッカーのまち」となっています。試合当日には、まちは赤やオレンジに染まり、ホームチームのファン・サポーターはもちろん、対戦チームのサポーターも含めてサッカーを愛する多くの人たちが訪れるまちなのです。

ファイシヤルイヤーズブック、会報VAMOS(バモス)、マッチデープログラムなどが揃っています。

お近くにお出かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

また、現在改修中の浦和駒場スタジアムは、かつては浦和レッズのホームゲームが多く行われ、サポーターからは「聖地」とまで呼ばれています。改修後には3種公認の陸上競技場として、また素晴らしいピッチのスタジアムとして復活することでしょう。

埼玉スタジアム2002は、平成14(2002)年のワールドカップ日韓大会に合わせて建設された日本最大級のサッカー専用スタジアムで、その大会では4試合が行われました。



大宮図書館サッカーコーナー



大宮のまちにひるがえるオレンジの旗



大宮駅東口の大宮アルディージャ・フットレリーフ

○浦和レッズ・浦和レッズレディース
現在、浦和レッズと浦和レッズレディースの選手がおすすめする本を、東浦和図書館と桜図書館で展示、ブックリストを作成・配布しています。11月19日には、この展示の出張ブースをさいたま市図書館として埼玉スタジアム2002に開設する予定です。

これらの連携事業には、市民への読書案内の一環として、さらには本を通して選手たちの声を伝え、チームと市民との絆をより強く深めていきたいと思います。同じように、地域に根ざした運営を基本構想に持つJリーグチームと図書館との連携が、活字文化とスポーツ文化の融合の一助になればと思います。

本棚ぶらり 寒い冬にあたたかくなる本

人類は、
冬の寒さをしのぐために
様々な暖をとる方法を考案してきました。
今回は、冬だからこそ読みたい「あたたかさ」をめぐる
本をご紹介します。



温泉と日本人 増補版
八岩まどか著 青弓社 2002

身も心も疲れきった時、ふと行きたくなくなる場所。われわれ日本人にとって、とても身近な存在である温泉との付き合いは、はるか昔から脈々と続いてきました。

奈良時代に編纂された『風土記』や『日本書紀』には、各地の温泉の様子や、天皇の温泉への行幸についての記述があります。平安時代には、貴族たちを中心に温泉行が楽しまれました。戦国武将は温泉で傷ついた体を癒し、江戸時代の人々は湯治の旅を楽しみます。明治維新を迎え、諸外国との戦争に突入してからは、温泉の多くは傷病兵のための療養所となりました。

そうした古代から現代へと続く温泉と日本人とのかわり、著者は、資料をひもときながらさまざまなエピソードとともに紹介しています。湯をめぐる争い、ロシア兵捕虜とのロマンス、温泉のタブーに関わる「湯の花事件」など、温泉をめぐる物語はどれも興味深いものばかりです。温泉の魅力と神髄がたっぷり詰まった一冊。本書を読んで、温泉の来し方と行く末に思いをさせてみてはいかがでしょうか。

聞き書き 紀州備長炭に生きる
ウバメガシの森から
阪本保喜語り かくまつとむ聞き書き
農山漁村文化協会 2007

うなぎなどを焼くのに欠かせない備長炭は、

火力が安定していて長持ちするので料理人の間で重宝されています。そんな備長炭を子どもの頃から焼き続けてきた炭焼き職人・阪本保喜氏が、その炭焼きの技術や山中での暮らしなどについて語ります。

谷間に生えている雑木を橋脚にして、谷沿いに木の線路を敷き、材料となる木材を運び出す、伝統的な運搬方法「木馬」。かつてはウバメガシのある山を求めて一家で転々と住まいを変えた、移動型の暮らし。そうした昔ながらの炭焼きの製法や技術、職人の暮らしの様子が、本人の口調とともにいきいきと語られています。

炭焼き職人という自身の仕事に寄せる誇りと熱い思いが感じられる一方で、ブランド化されてしまった備長炭の未来への危惧など、職人が直面している厳しい現実も伝わってきます。備長炭一筋50年の炭焼き職人が語る一冊。厳しくも熱い職人の世界を垣間見ることができるとともに、日本の「ものづくり」の神髄にも触れることができます。

ガリ屋がまとめた生姜のはなし
遠藤榮、遠藤栄一編 創元社 2011

食べておいしく、体にも良い生姜は、私たちの食卓に欠かせない存在です。特に近年の健康ブームで、体をあたためる効果がある食材として注目されています。ところが、意外に知られていないのが、有効的な利用方法です。

本書によると、生姜は、漢方薬の処方約70パーセントに使われている「薬」でもあり、食べ

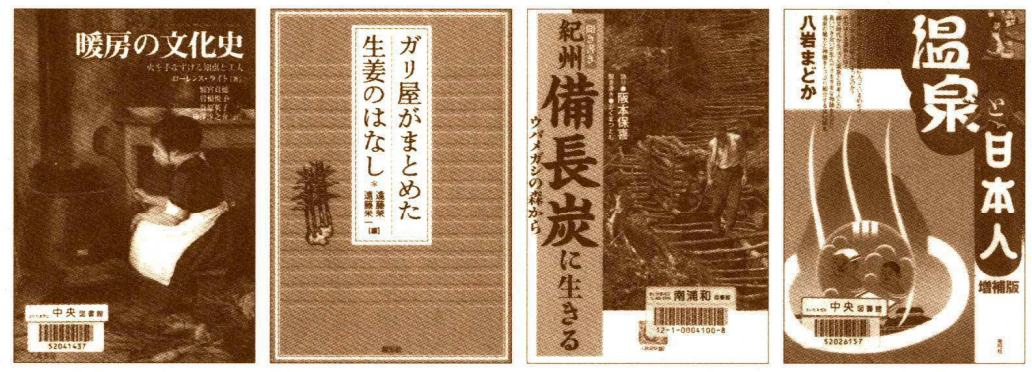
方によって効能に違いが出るのだそうです。冷え性対策には、生の生姜ではなく、乾燥させた生姜の活用をお勧めしていたり、生姜の足湯やあたたかいジンジャーチャイも紹介されています。また、生姜を祀った神様や、アンパンマンでお馴染みのやなせたかし氏デザインの生姜地蔵などは、一度訪ねてみたいものです。

地味な生姜にスポットを当て、知識や面白エピソードの他、育て方や保存法、アイデアレシピなども掲載。生姜をどこでも楽しむための1冊です。読み終わった後は、ぜひ巻頭の「生姜検定」にトライしてみましょー！

暖房の文化史
火を手なずける知恵と工夫
ローレンス・ライト著、別宮貞徳ほか訳 八坂書房 2003

今こそ私たちは冬でも暖かい部屋で快適に過ごせますが、そんな暮らしができるようになったのは比較的最近のことのようです。人々は、いかに上手に暖をとるかについて、長い間知恵を絞り、試行錯誤を重ねてきました。

本書では、そんな人間と暖房の歴史を、多数の図版や引用を交えながらひもといいていきます。煙突、暖炉、ストーブなど様々な暖房設備や燃料の登場と、それによる人々の生活の変化を、人間が火を手に入れた太古の時代から、現代(本書が発表された1964年)まで、イギリスを中心に追っていきます。また、暖房だけでなく、火を使った調理器具についても触れています。



Q 銭湯は日本でいつ始まったの？

A 寺院には必ず、「仏体を清めるため」「勤修の衆僧の潔斎浴あるいは保健衛生のため」「温室(温堂)という浴場がありました。「病人は身体が温まるし、冷え性にも効果があり、潔斎に入浴した信者も浴後が爽快なので、これを聞き伝えた者が次々に集まり、温堂では応じきれなくなつて、境内に別に衆生むきの大きな浴場を設けるようになり、大湯屋と称した。これが、「銭湯」の起源である。「銭湯」という文字は、14世紀の「祇園執行日記」にすでにあるそうです。『お風呂考現学』江夏弘著 TOTTO出版 1997)

そして江戸時代、「湯屋」「風呂屋」ができ、現在の銭湯の原型が現れます。「江戸の町湯は必ずといっていいほど二階建てになっており、湯から上がったご隠居さんや町内の若い衆は、二階に上がって軽い飲食をしながら

体を休めつつ、町内の噂話に花を咲かせたという。『銭湯 NHK美の壺』NHK出版 1999)

とはいえ入浴の仕方は現在とは大きく異なり、主流は長い間蒸風呂だったそうです。中世末、膝まで湯を張って蒸気を発生させるタイプの風呂ができてから、江戸時代を下るに従い徐々に湯量が増加し、蒸風呂の特徴が後退します。そして明治10(1877)年、鶴沢紋左衛門が神田連雀町に、温泉からヒントを得て、肩まで湯につかる現在のよくなタイプの銭湯をつくつたのです。『入浴の解体新書』松平誠著 小学館 1997)

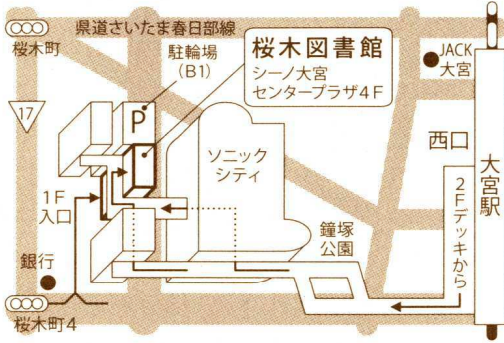
みなさんも、ぜひ銭湯に日本の歴史や文化を感じてみて下さい。



桜木図書館

桜木図書館は、「首都圏の北の玄関口」とも称されるJR大宮駅の西口から徒歩5分ほどのビル「シーノ大宮」センタープラザ4階にあります。

平成16年7月の開館以来、駅前という便利な立地にあるため、シヨッピン利用者も多く、日中の賑わいもさることながら、平日の夕方から夜8時の閉館間際まで、人が途切れることはほとんどありません。



駐輪場入口は、ソニックシティ側に面している。

正面入口。エレベーターホールから館内を見たところ。



左手にカウンター、正面右手に記載台とビジネス関連のコーナー。

ワンフロアでこじんまりとした図書館ですが、大きな窓から外光が差し込み、館内は明るい雰囲気です。小説など一般向けの読み物や趣味の本、子ども向けの絵本や児童書、紙芝居など、幅広いジャンルの本が揃っています。また、オフィス街に近いことから、ビジネス書や実用書が充実しており、入口正面の書棚はビジネス関係書のコーナーとなつています。インターネット閲覧席では、商用データベースを利用することが出来ます。DVD鑑賞席も数席あり、小さいながらも充実した施設となっております。

大宮駅西口にお越しの際は、ぜひ立ち寄りください。

大原の大ケヤキの作品完成へ

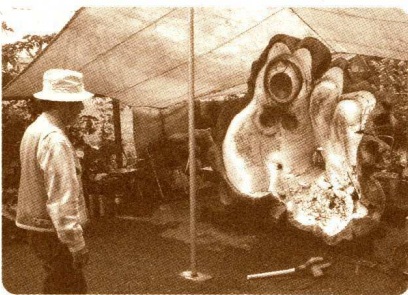
与野駅東口交差点にあった大ケヤキが2010年5月に伐採され、芸術作品に生まれ変わるという記事を前々号で掲載しました。その後、制作に携わる彫刻家・本田貴侶先生が春先に体調を崩されて作業は一時中断しましたが、6月には復帰され、作業も再開されました。

取材に伺った8月末、作品は、内側が白く塗られて彫刻も明確になり、印象は大きく変わっていました。お話を伺うと、秋には完成するとのことで、作業はいよいよ大詰めを迎えている様子でした。作品の完成が楽しみです。

伐採された大ケヤキは、苗木が各所に移植されたり、一部が与野駅改札前や近くの銀行に展示されています。新聞では、県立浦和西高校の卒業生である彫刻家がこの大ケヤキから作品を制作し、母校に展示されたことが取り上げられました。

大ケヤキが、姿を変えたとはいえ、いまでも地域のみなさんに愛されていることが感じられた取材でした。

3回に渡って大ケヤキのその後をご紹介してきました。これから、地域に関する情報や資料の紹介を続けていこうと考えています。



作品を前に思索する本田先生。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 東日本大震災後、地震関連や原発関連の書籍が多く発行されています。ぜひ図書館で正確な情報を入手して、日ごろの備えにお役立てください。

次回発行：2012年3月15日（年3回発行）

